

1月～2月のりた (告知)

- 時 開催時間 対 参加対象
 所 開催場所 申 参加方法
 ￥ 参加費 持 持ち物
 定 定員(選定方法)

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、開催を中止・延期にすることがあります。事前に各問合せ先に確認をお願いします。

1/23 「変わりゆく岩津の町」～記憶に残したい昭和の思い出～

岩津地区の歴史散策。昭和30年頃の町並みを思い出しながら、まち歩きをします。また、当事業がきっかけで誕生した岩津の地理や歴史を研究している団体による解説付きで岩津城址と円福寺を訪ねます。

- 時 9:00-12:00
 所 なごみん周辺
 ￥ 無料 定 20名(先着順)
 申 必要。直接または電話にて、なごみんへお申し込みください。

2/13 東部の活躍人！交流会

東部地域で活躍する市民活動団体・地域団体が集まり、情報交換と親睦を図る交流会。宮崎サイクリングの郷づくり実行委員会、岡崎市サイクリング協会を招き、地元住民との連携についてお話しいたします。

- 時 10:00～12:00
 所 岡崎市額田センター・こもればかん
 ￥ 無料
 申 必要。直接または電話にて、むらさきかんへお申し込みください。

2/20 地域活動サミットin北部「みんなに元気を！オンライン市民活動体験談」

北部地域で活躍する団体の情報交換会。オンラインツールを取り入れてよかったこと、大変だったことなどの体験談を発表していただきます。また、ツールを導入していない団体も交えて情報交換を行います。

- 時 14:00～16:00
 所 なごみん ホールA
 ￥ 無料
 申 必要。直接または電話にて、なごみんへお申し込みください。

2/21 GoToスマイル ゆきフェスタ

市民活動団体や公益的な活動をしている団体の成果発表の場。空手やバルーンアート等のワークショップや活動内容の展示などを行います。雑貨や食品の販売もあります。

- 時 10:00～13:00
 所 悠紀の里
 ￥ 無料(一部有料)
 申 一部WSで事前予約制。悠紀の里へお問い合わせください。

広報講座

『自分たちに合った広報ツールを探そう！』

～情報発信のセルフチェック～



「SNSなど新しいツールはどれがいい?」「色々な広報ツールの更新が大変」「効果が感じられない」…こうしたことに困っていませんか? 情報誌やチラシ、SNSなどさまざまな広報ツール。効果的な広報活動のためには、目的や対象によって適切なツールを選ぶ必要があります。この講座では、広報活動をセルフチェックした上で各種ツールの強みや弱みを理解し、自分達にあった広報ツールを探ります。

- 日時: 2021年1月22日(金) 18:30～20:30(18時15分より受付開始)
- 場所: <メイン会場> 岡崎市図書館交流プラザ 会議室301 (康生通西4丁目71番地)
 <サテライト会場> 各地域交流センター(なごみん、よりなん、やはぎかん、むらさきかん、悠紀の里)
 ※当日はメイン会場とオンラインでつないで開催します。
- 対象: まちづくりや市民活動に係わる団体・個人・事業者の方
- 申込み: りぶら市民活動センター・各地域交流センターの窓口または電話、FAXにて。
- 問合せ: りぶら市民活動センター 電話: 0564-23-3114 / FAX: 0564-23-3142

お問合せ	よりなん	59-3600	むらさきかん	66-3066	市民活動センター	23-3114
なごみん	やはぎかん	33-3665	悠紀の里	57-5050	まち育て推進チーム	23-2888

まちのミカタ

Litaracy

2021 .01 vol.107

発行・編集



特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・Lita

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
 TEL(0564)23-2888 / FAX(0564)23-2898
<http://www.okazaki-lita.com/>
<https://www.facebook.com/okazaki.lita/>

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra/岡崎市内の各地域交流センター 会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所/岡崎市各市民センター/シビックセンター/ FMおかざき/杉くんの駄菓子屋/angelshare/松應寺/cafeくらがり/

まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

107

2021年1月



特集

まちの複合的な課題と担い手をつなぐ本宿の協働型まちづくり

本宿学区は、額田地区や新東名の岡崎東ICとつながる国道473号バイパスの開通(2015年)やアウトレットモール計画など、新たな都市整備が進められています。旧東海道沿いには、旧代官屋敷(2019年にイタリアンレストランにリノベーション)、徳川ゆかりの古刹・法蔵寺、岡崎市の景観重要建造物に指定されているアイチ味噌溜店舗など、歴史的建造物が点在し、来年度には、2008年に下水道工事のために解体された1928年築の旧本宿村役場の復原が予定されています。

こうした背景から、旧本宿村役場の復原を機に、良好なまちなみを保全し、景観資源を活かしたまちづくりを進めることが景観行政の課題となっています。景観まちづくりには、ハー

ド整備のみならず、景観資源を守り、活かす担い手が不可欠であり、その地に住む人々の暮らしや様々な活動と良好な景観形成を結びつけることで相乗効果が得られます。

りたは、岡崎市の景観整備機構として、2019年から本宿の旧東海道地区の景観まちづくりを支援しており、その中で、地域の課題やニーズを掘りおこし、既存の地域活動の担い手と、地域の若手や小学校といった新たな担い手との連携を図り、景観、福祉、教育といったテーマを結びつけるまちづくりを展開しています。

本稿では、本宿における景観まちづくりから派生した協働型まちづくりの展開に焦点を当ててご紹介します。

まちの複合的な課題と担い手をつなぐ 本宿の協働型まちづくり

地域活動を見直す「小規模多機能自治」

本宿学区の中心部では、2015年までの10年で人口が10%強減少し、高齢化率は15.7%から28.3%に上昇しています。もとより、高齢者支援、子育て支援、伝統行事の継承など、地域活動が活発な地区ではありますが、人口推計値から、地域活動の主力である前期高齢者(65~74歳)の数は減っていき、一般的に暮らしの支援が必要となる割合が高い後期高齢者の数は増えていくことが予想されます。

全国で同様の課題を抱える地域において、地域活動の担い手を掘りおこしつつ、優先順位の高い課題の解消に向けて地域活動を再編する「小規模多機能自治」という考え方が注目されています。

岡崎市では周辺部のみならず、中心部でも空洞化が進んでおり、すでに籠田公園周辺の町内会でも、小規模多機能自治の考え方を元に、その一分析手法である「全住民アンケート」が実施され、りたもこうした地域活動を見直す取り組みを支援しています(Litaracy vol.106参照)。

若い力を掘り起こす

地域活動が盛んな本宿でも、特定の担い手に負担が集中している部分もあり、景観まちづくりの取り組みを、新たな負担を増やすのではなく、地域の課題改善に役立つような形で組み立てる必要がありました。

そこで、籠田地区のノウハウを活かし、地域のニーズや課題を把握する「全住民アンケート」を実施することになりました。対象となる4町(本宿東、本宿中町、本宿栄、本宿西)の役員の方とアンケートの設問や進め方に関する勉強会を行う中で、まちづくりを推進する若手を巻き込むべきという方針が打ち出され、祭りの実働部隊である青年部の協力を得られることになりました。伝統行事の継承を通じて、未来のまちの担い手の育成に力を入れる青年部からは、子どもたちの巻き込みが提案され、本宿小学校へ協力を打診したところ、並行して行った旧東海道沿いの景観資源を発見するまち歩きに本宿小4年生全員が参加してくれることになりました。

さらに、全住民アンケート(回答率85.6%)からは、20~40代の3割以上は「地域活動に参加していないが、関心はある」ことがわかり、アンケート報告会では、どうすれば若い人が参加しやすくなるかが話し合われるなど、これまで地域活動に縁の薄かった層の掘りおこしに関心が寄せられることとなりました。

地域福祉活動への展開

全住民アンケートでは、高齢者の健康維持・増進や日常の買い物、通院などの移動手段といった暮らしの困りごと浮き彫りになりました。りたは、2017年度より、市内20か所に設置された地域包括支援センターと連携し、地域主体の高齢者福祉の活動支援を行っています(Litaracy vol.94,105参照)。そこで、全住民アンケートの実施を経て、2020年度は本宿学区を重点地区に設定し、以前よりむらさきかんと協働実績のある東部地域包括センター(以下、東部包括)と共に、高齢者支援の方策を検討することになりました。

本宿学区では、2016年度より、富田病院、地域役員と東部包括により地域ケア会議「本宿げんきを考える会」が開かれ、高齢者の介護予防に資する学区内の活動場所を紹介する冊子の作成や、ごまんぞく体操の普及などの成果を上げています。これらの活動が一段落し、次の活動方針を模索している段階にあつたため、全住民アンケートの結果に加え、地域福祉計画の内容を踏まえ、今後、若い担い手の発掘、男性シニアの参加促進、引きこもり高齢者の支援策の具体化を「げんきを考える会」の活動テーマとして検討していく方向で調整を進めています。

複合的な地域課題を横断的に解決する

今年度の景観まちづくりは、前年度にまち点検に参加した小学生が地域活動の取り組みや担い手の思いに触れ、それらを踏まえて自分たちが実現したいまちの将来像を描くワークショップを開催しました。これらの提案は、設立準備中の「旧東海道本宿景観まちなみ協議会」に引き継がれ、小学校や地域包括の動きと連携をして進められていく予定です。

りたは、複合的な地域課題を整理し、関わる担い手を掘りおこし、結びつける協働型まちづくりをこれからも支援していきます。



▲小学生が参加したまち点検ワークショップ



▲全住民アンケート報告会



▲地域活動に込める思いを次世代に伝える

11月~12月のりた(報告)

市民活動支援チーム 12/12 (仮称)北斗台4公園愛護運営会



りたは公園緑地課と協働して市内各所に公園愛護運営会(愛称・公園育み隊)の設立を進めています。従来、公園愛護会といって公園の維持管理(清掃や除草)をするグループを地域主体で

作る仕組みがありましたが、公園育み隊は公園の維持管理に加えて活用(緑化や剪定、火を伴うイベント等)ができる点に特徴があります。過去に、春咲3公園や岩津北公園、棚田公園を対象に公園育み隊は設立されてきました。これに続いて現在、北斗台団地内(細川学区)にある4公園を対象とした公園育み隊の設立が佳境を迎えています。北斗台では、公園の維持管理は既存の愛護会が担い、公園活用は現役世代の女性たちが中心に検討を進めています。当面、北斗台2号公園(通称・古墳公園)の有効活用に向けて、公園の補修や試験的な活用(3月頃にフリーマーケット)を実施する予定です。

悠紀の里 11/21

ゆき防災講座



防災意識向上を目指した講座。岡崎市役所防災課の職員による講演のほか、毛布を使った簡易担架づくりや段ボールベッドの組み立てなどの体験会を実施しました。

むらさきかん 11/28

あつまれ食育フェスタ



愛知学泉短期大学食物栄養学科と連携。学生手作りの紙芝居やクイズなどを用い、親子で楽しみながら食の大切さを学ぶ機会となりました。

むらさきかん 11/29

生きがい発見!講座 絵手紙を描こう!



市民の方々に生きがいとなるものを発見してもらうための体験講座。今回は、絵手紙制作をしている団体(2団体)と協働し、来年度の干支「丑」の年賀状を作成しました。

なごみん 12/4

なごみんカレッジ 手話講座



岡崎聾学校高等部のみなさんを講師に招き、聾学校と地域の接点づくりを目的とした手話の体験会を実施。手話を通してよい交流が生まれました。

むらさきかん 12/5

まち育てスクール 東海中学区AtoZをつくろう!



東部地域の魅力を発見する企画。東海中学校ボランティアの皆さんと協働し、普段何気なく通る場所や誰かに教えたい町の魅力を自分の視点で撮影し、タイトルやコメントを付け、地域の方に発表しました。

なごみん 12/12-19

なごみんカレッジ オンラインかんたんマジック



岡崎マジック愛好会からの「オンラインでの講座にチャレンジしたい」という相談から、市民活動団体支援の一環として、オンラインでのマジック講座を実施しました。

やはぎかん 12/17~27

矢作のいいね! みっけ展



過去にやはぎかんで開催した矢作地域のまち歩きコースの紹介と、地域の魅力を次世代につなげる活動をしている方についてのインタビュー記事を展示しました。